

# 地震国ニッポンで家を建てるこれからの「安心基準」。

## スーパーストロング構造体 **VALUE** バリュー

スーパーストロング構造体バリューの「安心基準」  
その答えは、全棟「耐震等級3」相当を支える  
トステムの設計体制にあります。



▲トステム(株) 21世紀住宅研究所 CADセンター



▲安心の証としてお客様にお渡しする「設計検査報告書」には、各設計検査内容とその結果報告が詳細に記載されています。

### 「耐震等級3」は、最高等級・建築基準法の1.5倍の耐震性



スーパーストロング構造体バリューは、  
全棟で「耐震等級3」\*1相当を実現しています。

**耐震**  
補償付き

さらに、万が一の震災時も安心な耐震補償

万が一、スーパーストロング構造体バリューで建築した家が地震の揺れにより全壊した場合、最高2,000万円まで建替え費用の一部を負担します。

### スーパーストロング構造体バリュー 「耐震等級3」相当の強さの理由

#### 壁が強い

**建築基準法**  
建築基準法では、2階の形状や大きさが違っても1階の壁量は一定\*です。  
※1階の広さにより必要な壁量を算出します(見付面積で算出する場合があります)。

**スーパーストロング構造体バリュー**  
スーパーストロング構造体バリューの家は、建物の形や大きさに応じて必要な壁量を算出するため、地震に強い家といえます。

#### 床が強い

**建築基準法**  
建築基準法では、床の形状や大きさにかわらず補強方法は一定\*です。  
※隅角に火打ち材(補強材)を使用します。

**スーパーストロング構造体バリュー**  
スーパーストロング構造体バリューの家は、形状や大きさに応じて必要な床量を算出し、不足している場合は補強を行うため、地震に強い家といえます。

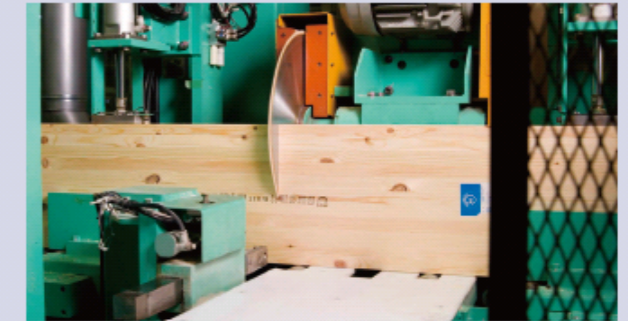
#### 基礎が強い

**建築基準法**  
建築基準法では、地盤の強さに応じて基礎形式を選択するだけで、基礎配筋等の仕様は一定です。

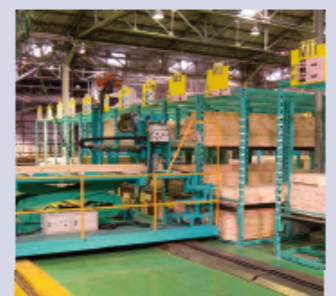
**スーパーストロング構造体バリュー**  
スーパーストロング構造体バリューの基礎は、建物の形状や大きさに応じて基礎を配置し、強度不足の場合は配筋の補強を行うため、地震に強い家といえます。

### スーパーストロング構造体バリューの仕様

#### 強靱でくずれが少ない、プレカット材



工場で加工された柱や梁などは、高品質で一本一本強度を確認することができるため、高精度な構造計算を行うことが可能になります。また、工場でミリ単位の精度でプレカット加工された資材は、バラつきやミスがないため現場での施工精度も高まります。



#### 壁体内結露を防ぐ外壁仕様 / 外壁通気層

通気層は建物外壁の裏側に設けられ、外周部全体に施工されます。外壁下の隙間(1)から外気を取り入れ、軒裏(2)や棟(3)から排出することで、壁体内に侵入した湿気を排出する役割を果たします。また、外壁の裏に侵入した雨水を排出する役割も果たします。



#### 構造材を守るシロアリ対策

シロアリは北海道の一部を除く日本全国に生息しています。シロアリの被害は、地震による家屋の倒壊にも大きな影響を及ぼします。耐震補償の条件として、防蟻工事を定期的に行い、白蟻防蟻保証を継続することが必要です。